

2012べっぴん男女共同参画フォーラム(報告)

～ 2012. 10. 27 (土) ニューライフプラザでフォーラムを開催 ～
およそ100人の参加がありました。今年は、ぜひ、あなたも!

第1部 ミニコンサート

フォーラムでは、地元で活躍されている音楽家の生演奏で、まずはリラックスできるひとときを楽しんでもらおうとミニコンサートをプログラムに入れています。

別府市民吹奏楽団「ジョリーカンパニー・ウィンドアンサンブル」

今回は、楽団のフルート奏者のメンバーが出演。優しい音色と楽しいトークでなごやかにスタートしました。

参加者のこえ

フルートのやさしい音色がとてよかったです。(60代男性)

日々、育児と家事でバタバタと過ごしています。久しぶりに音楽をゆつくりと鑑賞することができ、心がリフレッシュできました。(30代女性)



メンバー
小田和美さん・木許友紀奈さん・宮本桂子さん・西園真美さん・二宮 守さん

第2部 講演「心地い～い家族のカタチ」

講師 山田 亮 さん (家事ジャーナリスト・楽家事ゼミ主宰)

講演要旨



- 「心地良さ」というのは、人それぞれ。1つ共通しているのは「仲がいい」ということ。そのためには、男も家事ができればいい。
- 家族の形は、よく「人」という形で表現されるが、一人ひとりが「I」の字の形で自立し、手をつなぎ合った「M」の字の形がいい。そして、あまったもう片方の手は周りの人とつなぐと輪ができ、一人が倒れそうになっても支えられる。(表紙の図)
- 家事は一生すること。家事がおもしろいと最期の瞬間まで楽しめる。
- 創意工夫すると家事は楽しめる。家族の喜ぶ顔が見られることも楽しい。
- 家事「分担」ではなく、家事「共同」がいい。同じことを共有することで共感でき、楽しさは2倍、辛さは半分になる。この積み重ねが家族の絆になる。
- 家事は、楽しい生活のための手段であり目的ではない。
- 家事の基本は自事(自分のできることは自分です)。そこに、してくれる人がいたら感謝が生まれる。「すみません」から「ありがとう」へ。
- 一人ひとりが輝けるように「M」字型の社会ができればいい。(表紙)

参加者のこえ

男も女も同じように仕事・家事・子育てをするべきという話を聴き共感できた。(30代男性)

人生を明るく楽しむことと男女共同参画はつながると実感しました。おもしろかったです。(40代女性)

夫婦で参加しました。楽家事について、夫婦の共同・共有・共感について、よいお話を聴かせていただきました。(30代女性)

本当に家事を楽しんでやっている。しかもそれを楽しく伝えている。考え方を考える、行動が変わる!(60代男性)

毎日の家事を楽しむ工夫…「週1回新メニューを楽しむDAY」に挑戦してみようと思います。できるだけ「ありがとう」を言ってコミュニケーションを図りたいです。(60代女性)

非常に楽しく話が聴けました。男性が家庭のことをできると、人々全体を幸せにできそうですね。(70代女性)

湯のまち「べっぴん」

男女 共同参画

あすてっぴ

2012 べっぴん男女共同参画フォーラム
「心地い～い家族のカタチ」より



I字型
人と人が支え合う
一人がこけると もう一人もこける

コレカラは…



M字型
一人一人がまっすぐ立つ
そして手をつなぐ!

～誰もが自分らしく輝くために～



Mの字の輪になれば 誰かがこけそうになるとみんなが引っ張られて 気付くことができる
“地域”で支え合える
“育児・介護”を支え合える

あいた手でとなりの人と手をつなぐ



☆キラリ! 輝く人み～つけた☆

べっぴん男女共同参画協議会会長 高橋美智子さん

- ★別府市男女共同参画センター「あす・べっぴん」
- ★2012べっぴん男女共同参画フォーラム(報告)

みんなで仲良く暮らせる社会へ

あすてっぴの愛称…「あす」は明日と英語で私たちを表す us を意味し、「ステップ」は英語で足取りや歩調、そして段階を表す step、また、「びん」は別府の「府」です。私たちの明日の未来の男女共同参画のまち別府を性別にとらわれず、自分らしく自分の足取りで生きていこうという気持ちを込めています。

発行：別府市自治振興課 〒874-8511 別府市上野口町1番15号 編集：あすてっぴ市民編集委員

TEL 0977-21-1141 FAX 0977-21-6399 E-メール aup-pf@city.beppu.oita.jp

男女共同参画の推進について、ご意見・ご質問をお寄せください。

平成25年4月開設!

別府市男女共同参画センター あす・べっぷ

「あす・べっぷ」には、「あなたのすばらしさを磨く場所」、「明日への希望につながる場所」、そういったセンターになってほしいという願いが込められています。

男女共同参画センターに生まれ変わる労働者福祉センター



(別府市大字別府字野原3030番地1)

男女共同参画センター「あす・べっぷ」は、性別による格差のない、男女がともに生きやすい社会を目指し、基本として、次の4つの機能を持つセンターです。

相談

女性を対象に、DV(ドメスティック・バイオレンス)等、女性が抱える様々な問題について、女性相談員がお話をお聴きします。また、定期的に、弁護士など専門家による相談日を設定します。

交流

性別、年齢、地域といった枠を越え、多くの方が出会い交流でき、その交流を通じて、男女共同参画の理解を深めながら新しいネットワークの構築や活動を広げられる場所です。

情報

男女共同参画に関する書籍や検索用のパソコンを設置します。また、センターや他の施設の機関紙、リーフレットなどを設置し情報を提供します。

学習

固定的性別役割分担意識(「男は仕事・女は家庭」といった性別を理由に、役割を固定的に分けること)の解消や、エンパワーメント(人間力)向上をめざし、男女共同参画を基本とした研修会や講座を行います。

男女共同参画センターができることになったけど「男女共同参画社会」ってなんだろう?

「男だから」「女だから」という理由だけで、イヤな思いをしたり、責任がかたよったりしない社会。お互いを尊重してさまざまな場面で、個性や能力を活かすことができる社会です。

「男は仕事、女は家事・育児」等といった固定的性別役割分担意識が変わらなければこんな問題も...

例えば、急に妻が入院することになってしまったら。



おーい、家のこと誰がするんだよ〜...家事したことないぞ。

例えば、急に夫が入院することになってしまったら。



家計を直撃。仕事を見つけて働かないと...保育園も探さないぞ。

男性の家事・育児参加、女性の経済的自立も男女共同参画社会づくりの1つの課題です。

べっぷ男女共同参画協議会(17団体)

- 新世紀の会 ● ジェンダー(バイアス)フリーの会
- 豊の船・別府の会 ● 翔の会(市政モニターOG会)
- 別府市消費生活研究会 ● 別府市地域婦人団体連合会
- 別府市女性教職員退職現職協議会
- NPO法人別府八湯トラスト ● 別府親と子の劇場
- なでしこ会 ● NPO法人べっぷ未来塾
- きくいもの会 ● 別府商工会議所女性会事務局
- 別府宵酔女まつり会 ● 別府市民生委員児童委員協議会
- I.T.C. ● ふゆーちゃー

男女共同参画社会づくりに取り組む団体・個人を募集しています。詳しくは 事務局(中村 0977-66-7244)まで

★きらり!輝く人み~つけた★



今号の「きらり!」は、男女共同参画センターの開設に向け一生懸命に取り組んでこられたメンバーのおひとりで、現在、「べっぷ男女共同参画協議会」の会長をお務めの

高橋美智子 さんです。

★プロフィール★

平成元年 別府市立中学校音楽教諭を退職
平成7年4月 別府市議会議員(3期12年) 女性問題等に取り組む活動を開始
平成21年4月 「べっぷ男女共同参画協議会」会長に就任

センターの設立までの流れをお聴かせください

平成11年に男女共同参画社会基本法が制定され、地方公共団体の取り組みが推進されることに明るい未来を感じて、12年前、まず、男女共同参画に協賛していただくために協議会をつくりました。

毎月1回は必ず学習会を開いて、市長にセンター設置の要望書を出すための準備などをしてきました。

別府の土地柄、数々の問題を抱えている女性が

多く、それらの問題を解決するためには、公的な活動の拠点が必要となり、センター設立へと進んでいきました。特にDV(ドメスティック・バイオレンス)の問題は命に関わるだけに、相談できる窓口を早急になんとか充実させたいと思っていました。

今では17の団体が協議会に加盟し、センター設立への活動を共に進めています。

10年以上もの長い間、なかなか周りから理解されず順調に進まないこともあったとお聴きしましたが、ずっと活動を続けてこれたのはなぜですか

教師をしていたとき、生徒の母親からの相談を受けていました。その中で、夫からの暴力等を受けている方も見えました。その姿を見て育った子どもたちが大人になり、親になり、また同じようなことをしているのを見たとき、女性の人権を考えざるを得なかったのです。

教師の力ではどうしようもなく、行政でなんとかしなくては、人権の大切さを市民が学習していかなければ、と痛感しました。

また、その頃、研修で行ったヨーロッパの国々

の人権感覚や福祉政策とのあまりのギャップに愕然としました。何とかしなくては、という思いがますます強くなりました。



男性にとっても大切ですよ

DVや女性の人権問題を考えなくては

長時間にわたるインタビューにも関わらず丁寧にお話ししてくださいました。

どんなセンターにしたいですか

市民の誰もが気軽に立ち寄れるセンターにしたいです。

また、今でも様々なところに相談窓口はありますが、その窓口が増えたと思ってもらえるといいなと思います。センターでは、女性からのDVに関わる相談に女性相談員が対応し、弁護士による相談日も設定される予定です。困っている人、話を聴いてもらいたい人が安心して相談できるセンターになることを期待しています。

インタビューー: あすてっぷ市民編集委員 平原美奈・宗安由美子

編集後記

心が寒くなる話題も多い昨今。今号のお二人には勇気と元気をわけていただきました。一人ひとりの力が集まれば、きっと☆